

様式2

平成24年度第1回文化財保護審議会 会議概要

- 1 審議会名 平成24年度第1回文化財保護審議会
- 2 日 時 平成24年5月15日(火) 午前10時00分から正午まで
- 3 会 場 安曇野市明科総合支所 第1会議室
- 4 出席者 百瀬(宗)会長、石田委員、飯沼委員、梅干野委員、百瀬(新)委員
- 5 市側出席者 教育次長 小松、文化課長 三澤、
文化財保護係係長 那須野、文化財保護係 逸見、土屋
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人0人 記者0人
- 8 会議概要作成年月日 平成24年5月28日

協 議 事 項 等

1. 会議の概要

開会、あいさつ

委員の委嘱、自己紹介、会長の互選・職務代理の選任

報告事項

- (1) 平成24年度文化財保護事業の概要
- (2) 補助金交付要綱及び『文化財保護のてびき』の改正
- (3) 豊科郷土博物館の直営化と資料館の統廃合について
- (4) 登録有形文化財の登録について

審議事項

- (1) 平成24年度の指定文化財候補について
- (2) 平成24年度登録文化財候補と歴史的建造物の保全について
- (3) 明科資料館の取り扱いについて
- (4) 巨木・古木の指定方針について

その他

閉会

2. 報告概要

- (1) ~ (4)

■学芸員の養成について、具体的にはどうなっているのか。将来的に博物館をつくる方向になるとしたら、それまでに人材を用意しておかないといけない。(委員)

→学芸員の体制については、必要性は承知している。具体的な案をつくり総務部局と相談しながら体制を講じていかなければならない。今はまだ、体制が整っていない状況である。(事務局)

→地元の研究者にもお願いしてサポートしていただく方向で進めてほしい。(委員)

■安曇野市全体的にみて、農業関係の古い堰や井戸・橋などで文化財的価値のあるものは残していかないとはいけない。こういった緊急性を要する調査も必要ではないか。(委員)

→開発事業に対して、自然的なものなどを残そうとすると対立してしまうことがある。市全体でどうするかというビジョンを持っていないといけない。(事務局)

■事業報告にある天然記念物・希少野生動植物で国道・県道にかかわる保護協議とあるが、どういうことか。(委員)

→埋蔵文化財の照会情報では、公共事業が入る場所全てに遺跡があるか確認して、遺跡があれば法律に基づいて保護協議をする。これに準じて、国道・県道などの工事も事前に把握し保護協議を実施している。今後、国県に対してもそういう協議が必要だという認識につながる機会になっている。(事務局)

3. 審議概要

(1) 平成24年度の指定文化財候補について

■ 岩原山神社のお舟は建築学的な調査をしているのか。組み立ての方法など、建築学的にもかなり重要だと思う。(委員)

→ 無形民俗文化財を念頭においていたので、そういった調査は現在のところしていない。建築学的な視点からご意見をいただくと、この文化財にも価値がついてくる。(事務局)

→ お祭りという無形の要素で括られてしまうが、有形の要素で重要な物もある。そのあたり、有形と無形をどう統合して保護していくかが大事。(委員)

■ (岩原山神社のお舟について) 安曇野で、担ぎ舟が残っているのは非常に価値が高いと思う。(委員)

■ 指定を進める方針で、申請等の事務を進めてよろしい。(全員一致)

(2) 平成24年度登録文化財候補と歴史的建造物の保全について

■ (歴史的建造物として) 古民家調査のまとめ方はどうなるのか。統計的に処理するだけか。一棟ずつカード化しておいたほうがよいと思う。簡単な配置図も付けて。棟数は全市でどのくらいか。(委員)

→ 町村誌で具体的な棟数まで記載されていないものがあるため、把握できていない。委員のご指摘の通り、まとめの方法をはっきりしておくようにする。(事務局)

(3) 明科資料館の取り扱いについて

■ 穂高の収蔵施設の展示はどのように考えているのか。

→ 収蔵施設に展示はない。穂高の施設は豊科郷土博物館と一体で有効に使っていきたい。また「みらい」や「きぼう」のような新しい展示施設もできているので、こういったところでも調査研究の成果を発表したい。(事務局)

■ 地域の特性がわかるような展示を「みらい」や「きぼう」で行ってほしい。(委員)

→ 加えて、地域の人たち、とりわけ小中学生、に収蔵されてしまった資料を見てもらえる機会が必要だろうと考えている。(委員)

(4) 巨木・古木の指定方針について

■ サクラの指定について、それ一本で指定するのがよいか、近くに複数あればセットにしたほうがよいか検討課題である。また、安曇野市はシダレザクラばかり指定しているという問題も出てくる。(委員)

■ 案件のシダレザクラについて、隣地の土地所有者との折衝は具体的に進んでいるか。(委員)

→ 今回の話を仲介した市議員がいるので、地元の区長に話してみるとおっしゃっていた。(事務局)

■ 保存木について、新しい提案をしたい。まずは、旧明科町の保存木で市の天然記念物として指定する価値のあるものを選んでいくということ。それから、保存木の制度を市全体に広げてほしい。例えばハンノキとかクヌギ、コナラなど生業に結びついた樹種はこのまま放っておけばなくなってしまうと思う。そういうものも大事な木であると思う。こういったものは指定より、保存木という考え方が基本的かと思う。(委員)

→ 検討課題としたい。(事務局)